

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	静岡大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シズオカダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F122110106224
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	静岡県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	知的財産実践(通称 知財インターンシップ)
	学部・研究科等名	イノベーション社会連携推進機構
	担当教職員名・役職	清水一男：准教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	5
	受入企業等数	5
	受入企業等名	(株)ソミックマネジメントホールディングス、日星電気(株)、橋本エンジニアリング(株)、ヘルツ電子(株)、ヤマハ(株)
	インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	事前に習得した特許調査技術を基に企業の知財部署での調査業務に携わる。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	工学部・情報学部の3年生を対象に教養教育科目・選択科目として開講している。 夏季休業中の8～9月にインターンシップ実習を行い、ガイダンスや授業の他、規定の期間インターンシップに参加に参加した場合に2単位付与する。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	第1回「講義：知的財産制度の基礎」 第2回「講義：知財実務の基礎」 第3回「演習：特許調査①」 第4回「演習：特許調査②」 第5回「講義：知財実務①」※対面授業[ビジネスマナー研修も実施] 第6回「演習：特許情報分析」 第7回「演習：知財実務②」
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	事後報告会の実施 知財インターンシップ終了後、学生の発表による報告会をオンラインで実施した。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	・ 日報でインターン当日業務に対する感想 ・ 報告会資料における、インターン期間を通じての感想 ・ 報告会意見交換会で学生各人からの意見聴取
4-3.上記回答内容に関する詳細	・ 事前、事後にレポートの作成を行う。 ・ 日報でインターン当日業務に対する感想を確認する。 ・ 報告会資料における、インターン期間を通じての感想を確認する。 ・ 報告会意見交換会で学生各人からの意見聴取をする。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	

	5-3.上記回答内容に関する詳細	事前学習：7回の講義（6～7月） インターンシップ実習：5日間以上（8～9月） 事後学習：全体報告会（1日）
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	大学が行う事前学習に企業等も参画して実施している。受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施しており、インターンシップ中の日報および全体報告会の場で報告して頂いている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.oisc.shizuoka.ac.jp/news/chizaiinternship2021/
問い合わせ先	大学等名	静岡大学
	担当部署名	イノベーション社会連携推進機構
	担当者役職名	准教授
	担当者氏名	清水一男
	電話番号	053-478-1443
	メールアドレス	shimizu@cjr.shizuoka.ac.jp